

## アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）2014年度教育研究報告書

<b>事業課題名</b>	アジア経済発展論研究会
<b>代表者名</b>	三重野文晴（東南アジア研究所）
<b>事業概要</b> (600字程度)	<p>京大内の各部局に分散している経済発展論・開発経済学・アジア経済研究系の研究者の研究交流の場として、当該分野の研究報告・討論をおこなう定期的研究報告セミナーを開催した。</p> <p>2回のセミナーと1回のワークショップを開催し、合計5つの研究報告を実施し、学内の研究者・院生のアジア経済研究・経済発展論の分野の活性化をもたらした。</p> <p>このうちワークショップはアジア政経学会西日本大会の企画分科会と共催企画で実施され、学外をふくめた研究コミュニティのネットワークの構築に寄与した。6月の研究会では、報告者の一人が聾啞者であることへの対応として、手話同時通訳の導入を試みた。</p> <p>事業経費は、この学外報告者招聘のための旅費・宿泊費・日当・謝金、手話通訳への謝金として効果的に支出された。</p>
<b>成果の概要</b> (800字程度)	<p>[1] 6月定例研究会（参加者45名） 2014年6月5日(木)17:00-18:30 場所: 病院西地区(薬学部構内) 東南アジア研究所 稲盛財団記念館3F中会議室 報告者: 森 壮也 氏 (アジア経済研究所) 山形 辰史 氏 (アジア経済研究所) 報告論題: 「フィリピン障害者の生計と彼らを取り巻く社会: ルソン島の都市/農村部データの世帯データによる経済分析」 『障害と開発の実証分析: 社会モデルの観点から』に基づく報告 言語: 日本語 (== 手話同時通訳付き ==)</p> <p>[2] 7月定例研究会（参加者 14名） 2014年7月3日(木)17:00-18:30 場所: 吉田中央構内 法経東館B1「みずほホール」 報告者: 雲 和広 氏 (一橋大学 経済研究所 教授) 報告論題: 「ロシアの死亡動態再考」</p> <p>[3] 研究ワークショップ (特例開催-アジア政経学会西日本大会 企画分科会との共催)参加者(63名) 2014年11月29日(木)13:00-15:00 場所: 吉田中央構内 法経東館 (3階311教室) アジア政経学会2014年西日本大会 企画分科会 「アジアにおける企業と経済開発—企業レベルデータによる計量的アプローチ—」 共催 司会: 巖善平(同志社大学) 報告1: 藤森梓 (大阪成蹊大学) 「インド製造業における海外直接投資のスピル・オーバー効果: 企業別マイクロデータを用いた実証分析」 報告2: ヴィサテップ・スクサバン(京都大学) 「Entrepreneurial Human and Social Capital in Vietnam's Small Businesses」 報告3: 矢野剛 (京都大学) 「Efficiency of Trade Credit and Bank Finances: An Ethnic Minority Area in China」 言語: 日本語</p>